



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社日神グループホールディングス  
代表者の氏名 代表取締役社長 堤 幸 芳  
(コード番号：8881 東証プライム市場)  
問い合わせ先 代表取締役専務 黒 岩 英 樹  
電 話 番 号 0 3 - 5 3 6 0 - 2 0 1 6

### 株主提案に対する当社取締役会意見に関するお知らせ

当社は、株主1名より2023年6月26日開催予定の当社第49回定時株主総会（以下「本株主総会」といいます。）において株主提案を行う旨の2023年4月14日付の書面（以下「本株主提案書面」といいます。）を受領しておりましたが、本日開催の取締役会において、同株主による提案（以下「本株主提案」といいます。）に対する取締役会の意見を決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 提案株主

株主名 TK1 Ltd.

(以下「提案株主」といいます。)

#### 2. 本株主提案の内容

##### (1) 議題

自己株式の取得の件

##### (2) 議案の内容

別紙「本株主提案書面」に記載のとおりです。

なお、別紙「本株主提案書面」は、提案株主から提出された本株主提案書面の該当記載を原文のまま掲載したものです。

#### 3. 本株主提案に対する当社取締役会の意見

##### (1) 当社取締役会の意見

**本株主提案に反対いたします。**

##### (2) 反対の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を会社運営における重要課題の一つとして認識しております。株主重視の方針に加え、今後の事業展開等を勘案し、内部留保にも意を用い、業績に応じた適正配当を行うとともに、長期的な安定配当を維持することを基本方針としております。

バブル崩壊やリーマンショックなどの外的要因のあおりを受けて、当社グループの業績が悪化した時期においても、当社が配当を継続し、株主の皆様への利益還元を実現できてきたのは、十分な内部留保を確保していたからであります。

当社は、世界情勢がめまぐるしく複雑に変化し、事業環境のリスクが高まり、将来の不確実性が増している現状において、当社グループが環境変化に柔軟に対応して持続的な成長を果たし、株主の皆様への長期的な利益還元を実現していくためには、長期的な企業価値向上に向けた成長投資のための資金や、事業環境の不確実性を見据えた十分な内部留保資金の確保が必要だと考えております。当社は、このような方針の下で検討した配当議案を本株主総会に上程する予定です。

一方、本株主提案は、当社が検討した配当議案の他に、当社の発行済株式総数の6%以上の自己株式の取得を提案するものであり、これが可決されれば、当社の継続的成長のための戦略的投資に向けた資金確保を困難にし、事業リスクへの対応力を弱める恐れがあるものと考えます。また、本株主提案は、株主の皆様への長期的で安定的な利益還元を実現する視野をもった提案であるのか不明であるのみならず、本株主総会で性急に可決したとしても、その効果は、一時的、限定的なものと思料します。

本株主提案は、当社の株主還元の基本方針に合致せず、当社の中長期的な企業価値向上につながらない結果、株主の皆様利益を損ねる事態となる可能性もあると考えております。

以上の理由により、当社取締役会としては、本株主提案に反対いたします。

以 上

別紙 「本株主提案の内容」

※提案株主から提出された本株主提案書面の該当記載を原文のまま掲載しております。

・提案する議題及び議案の内容

1. 自己株式の取得の件

会社法第156条第1項の規定に基づき、本定時株主総会終結の時から150日以内に、当社普通株式を株式総数3,000,000株、取得価額の総額1,500百万円（ただし、会社法により許容される取得価額の総額（会社法第461条に定める「分配可能額」）が当該金額を下回るときは、会社法により許容される取得価額の総額の上限額）を限度として、金銭の交付をもって取得することとする。

以上